

白十字病院 だより

2026. Vol.16



石丸校区祭りに参加（石丸小学校にて）

巻頭特集

眼科 ～眼の健康を守り、見える喜びを支えます～

TOPIC

白十字病院 リハビリテーション部の今と昔
～変わるリハビリ、変わらない想い～

スタッフのお気に入り・仕事
白十字会福岡地区 地域応援活動からのお知らせ

Instagramの
フォローお願いします！



詳しい病院情報ホームページはこちら

<https://www.fukuoka.hakujujikai.or.jp/>



地域の医療を止めないために

クラウドファンディング
はじめました

止水板の設置で、災害に強い病院へ

近年、全国各地で豪雨や台風などによる浸水被害が頻発しています。これまで大きな被害がなかった地域でも、記録的な大雨により道路や建物が浸水し、医療機関が診療を継続できなくなる事例が報告されています。自然災害はいつ、どこで発生するか予測することが難しく、「もしも」に備えることの重要性がますます高まっています。

白十字病院は、地域医療支援病院として24時間365日、救急医療をはじめとする急性期医療を担い、地域の皆さまの命と健康を支えています。病気やけがは、災害の有無にかかわらず発生します。だからこそ、災害時であっても医療を

止めることなく、必要な方へ必要な医療を届け続けることが私たちの使命です。

その使命を果たすため、当院では災害対策の強化に継続して取り組んでいます。このたび新たに、豪雨などによる浸水から病院を守る「止水板」の整備を計画しました。止水板は病院の出入口などに設置し、建物への浸水を抑える設備です。浸水による被害を軽減することで、医療機器や設備を守り、診療機能を維持し、災害時にも地域医療を継続するための大切な備えとなります。

この取り組みを地域の皆さまとともに実現したいという思いから、クラウドファンディングを開

始しました。これは単に設備を整備するための資金を募るだけではなく、「地域の医療を止めない」という思いを共有し、地域全体で災害に備える取り組みでもあります。

皆さまからいただくご支援は、止水板の設置という形だけでなく、災害時にも安心して医療を受けられる地域づくりへとつながっていきます。これからも白十字病院は、地域に信頼される医療機関として、安心・安全な医療を提供し続けられるよう努めてまいります。本プロジェクトへのご理解と温かいご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

なぜ、止水板が必要なのか？

① 豪雨による浸水リスクの高まり



※水害発生時の状況を想定したイメージです

近年、短時間の大雨による浸水被害が増加しており、病院の機能が停止するリスクが高まっています。

② 医療機器を守るために



浸水は、電気設備や医療機器の故障につながり、診療の継続が困難になります。止水板の設置が重要な備えとなります。

③ 地域の医療を止めないために



災害時にも医療を提供し続けることが、地域の命を守ることに繋がります。止水板は、私たちの使命を支える大切な設備です。

止水板とは？

止水板は、豪雨や台風などによる浸水から建物を守るために、出入口などへ設置する防災設備です。水の侵入を抑えることで、院内への浸水被害を軽減し、医療機器や設備を守り、災害時にも診療を継続するための重要な役割を果たします。

- ☒ 浸水被害の軽減
- ☒ 電気設備や医療機器を保護
- ☒ 診療の継続、患者さんの安全確保
- ☒ 地域の医療を支えるための備えに



※写真はイメージです

プロジェクト概要

プロジェクト名	豪雨災害が起きても、地域医療を止めない ～止水板設置のためのご支援を～
目標金額	3,300 万円
募集期間	2026 年 10 月 1 日(木)～12 月 18 日(金)
資金の使い道	病院出入口への止水板の購入・設置費用
支援方法	・クラウドファンディングサイト「READYFOR」にてご支援を受け付けています。 ・当院ご来院時に専用受付(1階 医療情報プラザ・患者相談窓口付近)にてご寄付いただけます。

ご支援方法

ネット：STEP 1

サイトにアクセス



READYFOR
左の QR コードまたは、URL からプロジェクトページをご覧ください。

ネット：STEP 2

お申込み・決算



必要事項を入力し、決算を完了するとご支援が完了します。

または

ご来院

専用受付にてご寄付

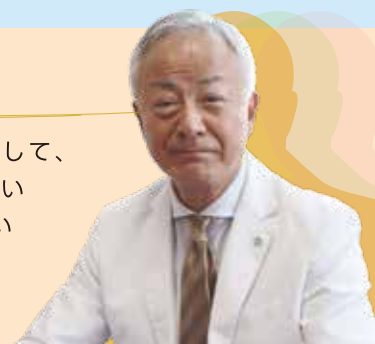
クラウドファンディングの特設専用受付にてご寄付を承ります。

- 場所 ●
1階エスカレーター前
『医療情報プラザ・患者相談窓口』横



病院長からのメッセージ

白十字病院は、これからも「地域の皆さまに信頼される病院」として、安全・安心な医療を提供し続けます。災害時にも医療を止めないために、止水板の設置は必要不可欠な備えです。皆さまの温かいご支援が、地域の未来を守る力になります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



白十字病院
病院長 瀧野 泰秀

目標金額

3,300 万円

募集期間

2026 年
10月1日(木)～
12月18日(金)

災害時も、地域の皆さまの命と健康を守り続けるために



地域医療支援病院としての使命
急性期医療を担い、地域の医療機関と連携して、切れ目のない医療を提供しています。



災害時にも診療を継続
BCP（事業継続計画）に基づき、災害時でも医療を止めない体制づくりを進めています。



皆さまのご支援が力になります
止水板の設置は地域の皆さまの安心に直結します。温かいご支援心よりお願い申し上げます。

糖尿病と診断されたら、まず眼科へ

眼と糖尿病は
深い繋がりがあります

— 糖尿病網膜症 —

糖尿病は、血糖値が高い状態が続くことで、全身の細い血管に障害を起こす病気です。その影響は目の網膜の血管にも及び、進行すると視力低下や失明につながることもあります。

正常な網膜

血管が整って酸素や栄養がしっかり届く

黄斑部 (ものを見る中心の部分)

視神経乳頭 (視神経の出入口)

出血やむくみがないきれいな網膜

正常な状態の特徴

- ✓ 血管が規則正しく走っている
- ✓ 出血やむくみがない
- ✓ 酸素や栄養がすみずみまで届いている

糖尿病網膜症の網膜

血管が傷つき、詰まったりもろくなる

出血 (網膜内出血)

むくみ・白斑 (血管から漏れた液体や脂肪がたまる)

酸素が届かず、血管が減っている

新生血管 (もろく異常な血管ができる)

糖尿病網膜症の特徴

- ✓ 血管が傷つき、詰まったり出血する
- ✓ むくみや白い斑点ができる
- ✓ 進行すると新生血管ができ、視能低下や失明の原因に

Q. どのような治療をするの?

眼底検査や OCT を用いて状態を把握し、レーザー治療や注射治療で視力の維持を目指します。

対応する主な疾患・治療

患者さんの状態に合わせて、丁寧な診察と適切な治療をおこなっています

白内障

濁った水晶体を取り除き、人工のレンズを挿入する日帰り手術をおこなっています。

緑内障

眼圧検査や視野検査をおこない、点眼治療やレーザー治療などで進行を抑えます。

加齢黄斑変性

OCT 検査を用いて早期診断し必要に応じて抗 VEGF 薬の注射治療をおこないます。

ドライアイ・花粉症

症状に合わせた点眼治療や生活環境でも快適な毎日をサポートします。

ロービジョンケア

視覚に障害がある方へ最適な支援をご紹介します。

ご予約・お問い合わせ

●ご予約・ご予約の変更はこちらから●

コールセンター

フリーダイヤル 0120-19-8912
(平日 / 8 : 30 ~ 17 : 00)

わたしたちが

『視能訓練士』です

視能訓練士は、視力や視野、眼圧、眼底などの検査を行い、眼科医の診療を支える「目の検査のスペシャリスト」です。白内障や緑内障、糖尿病網膜症などの診断・治療を支えるほか、お子さんの弱視・斜視の検査や訓練も担当し、患者さんの大切な「見える」を支えています。



私たちが丁寧にサポートします



こんな症状ありませんか？

見えにくい・かすむ

目が疲れやすい・重い

目のかゆみ・充血・痛み

光がまぶしい

視野の一部が欠ける・ゆがむ

早めの受診が、目の健康を守る第一歩です。

当科の特徴

- 幅広い疾患に対応**
白内障・緑内障・糖尿病網膜症・加齢黄斑変性・ドライアイ・アレルギー性結膜炎など、一般的な目の病気から専門性の高い疾患まで、幅広く診療しています。
- 検査体制の充実**
視力検査や眼圧検査、眼底検査、OCT(光干渉断層計)など、精密な検査機器を用いて、正確な診断と早期発見に努めています。
- チームで支える医療**
医師と視能訓練士が連携し、検査から治療、術後のフォローまで、チーム一丸となってサポートします。
- 地域医療との連携**
かかりつけ医や他の医療機関と連携し、必要に応じて専門的な治療や手術も含め、切れ目のない医療を提供します。

message

眼科副部長より

目の病気は、初期には自覚症状が少ないことが多く、気づいたときには進行している場合もあります。特に緑内障や糖尿病網膜症は、早期発見・早期治療が視力の維持につながります。「見えることの大切さ」を一緒に考え、最適な医療を提供してまいります。

眼科副部長 伊崎 亮介
(日本眼科学会認定眼科専門医)



眼の健康を守り、見える喜びを支えます

眼は、私たちが毎日を豊かに過ごすために欠かせない大切な器官です。当院の眼科では、地域の皆さまの「見える喜び」を守るため、一人ひとりに寄り添った丁寧な診療を心がけています。

昔

リハビリ室から始まる回復 ～「治ってから」が当たり前だった時代～

「まずは安静に」が基本とされ、病状が落ち着いてからリハビリを始めていました。リハビリ室で機能回復を目指すことが中心で、対象となるのも脳卒中や骨折など限られた疾患が主流でした。

若かりし頃の課長と部長を発見！

当時のリハビリの特徴

- ✓ リハビリはリハビリ室で行うのが中心
- ✓ 病状が落ち着いてから開始
- ✓ 主に運動機能の回復が目標
- ✓ 対象は一部の疾患が中心

当時のリハビリの様子
広いリハビリ室に集まり、
個別に訓練を行っていました



リハビリ室から、病院全体へ。そして地域へ。

変わるリハビリ、変わらない想い

リハビリテーション部の

今と昔

かつてリハビリはリハビリ室で行うことが中心でした。現在では、病棟やICUでの早期リハビリに加え、退院後の生活まで見据えた支援へと広がっています。一人ひとりの「その人らしい暮らし」を支えるために、リハビリテーションは欠かせないので重要な役割を担っています。



今

「治す」から「暮らしを支える」へ ～人の手のリハビリから、最新技術も取り入れたリハビリへ～

現在では、入院直後や手術後から病棟やICUでリハビリを開始し、早期回復を支えています。退院後の生活まで見据え、一人ひとりの「その人らしい暮らし」を支えることが大切な役割となっています。

入院直後から早期リハビリ



●ICUにて足の関節を動かし、血流を促進

身体機能の低下を防ぎ、
早期回復を目指します

病棟・ICUでのリハビリ



●病室にて患者さんの嚥下機能を確認

多職種と連携し、
安全にリハビリを実施します

幅広い疾患に対応



●CPXで心臓や肺の動きを評価

心臓・呼吸器・がんなど、
幅広い分野に対応しています

HAL®など最先端のロボット技術も活用



●HALを使って運動機能の回復をサポート

先進機器を取り入れ、より効果的な
機能回復を目指しています



変化するリハビリのかたち

かつては、医療の進歩とともにリハビリテーションの考え方も大きく変わっています。入院直後や手術後の早い段階からリハビリを開始する「早期リハビリテーション」が広く行われ、患者さんの状態に合わせて病棟やICUでリハビリを実施することも珍しくありません。早く身体を動かすことで体力や筋力の低下を防ぎ、合併症の予防や早期回復につなげることが期待されています。

当院のリハビリテーション部でも、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士がそれぞれの専門性を生かし、医師や看護師をはじめとする多職種と連携しながら、患者さん一人ひとりに適したリハビリテーションを提供しています。対象も整形外科や脳血管疾患だけでなく、心臓病や呼吸器疾患、がんなど幅広い分野へと

かつてのリハビリの現場

「リハビリテーション」と聞くと、リハビリ室で運動や歩行練習を行うイメージを持つ方も多いのではないのでしょうか。しかし、リハビリテーションは時代とともに大きく変化してきました。

かつては、病状が落ち着いてからリハビリ室で訓練を始めることが一般的でした。安静に過ごす時間が長く、回復してから機能を取り戻すことがリハビリの主な役割でした。また、対象となる患者さんも脳卒中や骨折など、限られた疾患が中心でした。

時代とともに、リハビリを行う場所も役割も大きく広がりました。しかし、ただでさえ医療が進歩しても、「患者さん一人ひとりに寄り添い、その人らしい生活を支えたい」という思いは今も昔も変わりません。リハビリ室から病院全体へ。そして地域へ。これからは白十字病院のリハビリテーション部は、患者さんの「できる」を増やし、笑顔で日常生活へ戻れるよう、一歩一歩寄り添いながら支えていきます。

リハビリテーション部の歩み

1982年2月
白十字病院開院



1980年代～
脳卒中や整形外科を中心に、
失った機能を回復することが目的



1990年代～
理学療法士・作業療法士が
増え、リハビリが身近な医療へ



2000年代～
介護保険開始。回復期リハビリ
テーション病棟ができ、
「自宅へ帰る」が
大きな目標に。



2010年代～
地域包括ケアが進み、病院だけ
でなく地域・在宅まで支援が
広がる。



現在
予防から急性期、回復期、生活期まで
切れ目なく支える「人生に寄り添う
リハビリ」へ。心臓・呼吸器・がん・
ICUなど対象も拡大。



白十字病院の敷地内にある“いしまるしえ”は、
地域のサロン活動の場や憩いの場、学習の場としてみなさんに親しまれています。
今年度も、多くの地域の方々にお越しいただき、笑顔があふれる温かい場でありますように…

健康講座

医師や専門スタッフが、 分かりやすく健康情報をお届け

地域の皆さまの健康づくりを応援するため、
医師や看護師、専門スタッフが健康に役立つ情報を
やさしくお伝えしています。

- ◆ 場所：いしまるしえ ◆ 参加費：無料
- ◆ 事前申し込み制



【今後スケジュール】

- 心臓・弁膜症センター
- 歯科衛生部
- 糖尿病センター
- 脳卒中センター
(栄養管理部)
- 臨床検査技術部 など

つながる カフェ

気軽に集い、ほっとできる 居場所づくり

オープンして3年目を迎えた認知症カフェ。
認知症の方やご家族、地域の皆さまが気軽に
集える場です。

- ◆ 開催頻度：1回/月 2時間 ◆ 場所：いしまるしえ
- ◆ 参加費：無料 ◆ 予約不要



大人から子どもまで
交流できる素敵な場です

本人 ミーティング

ともに語り合い、支えあう場

認知症のあるご本人同士やご家族が集まり、日頃感じて
いることや思いを自由に語り合う交流の場です。
新しい気づきや、仲間との出会いもあります。

※専門の看護師やケアマネジャー等の専門職が同席します

- ◆ 開催頻度：1回/月 1時間半 ◆ 場所：いしまるしえ
- ◆ 参加費：無料 ◆ 事前申し込み制



認知症と診断されても、
地域や社会のために活躍されて
いる方もいらっしゃいます！
あなたの経験が誰かの支えに
なるかもしれません

今後のスケジュール



つながるカフェ



本人ミーティング

10月	20日(火)	10:00~12:00	10月	16日(金)	14:00~15:30
11月	13日(金)	10:00~12:00	11月	28日(土)	10:00~11:30
12月	24日(木)	10:00~12:00	12月	25日(金)	14:00~15:30
1月	25日(月)	10:00~12:00	1月	19日(火)	14:00~15:30
2月	14日(土)	10:00~12:00	2月	18日(木)	14:00~15:30
3月	25日(水)	10:00~12:00	3月	7日(日)	10:00~11:30

★ 地域とともに ★

白十字会福岡地区は、これからも地域の皆さまとともに、
健康で笑顔あふれるまちづくりに貢献してまいります。



- 地域イベントへの参加・協力
- 健康相談・測定会の実施
- 学校や団体での健康教育・講演活動
- 行政・団体との連携による地域支援活動 など

LINE@



Instagram



ホームページ



白十字会地域交流サロン

いしまるしえ

●お申込み・お問合せ●

TEL:070-7664-3292

担当：平井(平日：9時～17時まで)



スタッフのお気に入り

私らしく生きる

皆さんは、自分らしく過ごせていますか？
やりたいことを諦めていませんか？

子どもの頃は、何も恐れずに色んなこと
に挑戦してみて、失敗や成功を繰り返す
中で、得たものも多かったはず。しか
し、大人になった私たちは、新しいこと
に挑戦する時、先のことを考え「失敗したらどう
しよう」と悩み、「やっぱりやめておこう」と断
念することも多いのではないだろうか。実
際に私も、始めたことより諦めてきたこと
の方が多かったように思います。そんな私が
ミュージカルと出会ったのは、友達に誘われ

て観に行ったことがきっかけでした。最初
は「友達について行ってみよう」という軽い
気持ちでしたが、歌やダンス、演技で一つ
の物語をつくり上げていく姿に惹かれ、い
つの間にか「自分もやってみたい」と思うよ
うになりました。そして今年、25歳になった
ことをきっかけに、新しいことへの挑戦とし
てミュージカルを始めました。

現在参加している「A COMMON BEAT」
は、NPO法人が運営する表現活動の一つ
です。表現を通じた教育活動にこだわり活
動を続けています。作品では、人と人との
違いを認め合い、共に生きることの大切さ
を描いています。年齢や立場に関係なく、
一人ひとりが自分らしく表現することの楽し
さや、誰かと一緒に一つの舞台をつくり上
げる感動を、きっと感じていただけたと思
います。観るだけでも、きっと心に残る作品で
す。ぜひ劇場で、私たちと一緒に「A COM
MON BEAT」の世界を楽しんでください！



梅田 鈴香
RINKA UMEDA
看護師
(救急センター・ICU)
■出身地：
福岡県遠賀郡
■趣味：音楽、旅行

A COMMON BEAT ～感じてほしい 共通の鼓動～



いいね！
観に来てね！

- # ミュージカルとの出会い
- # やりたい気持ちが参加資格
- # 活動コンセプトは『Fly High』
- # 一般市民参加型 100人100日ミュージカル
- # 心動かされる作品です



スタッフの仕事

見えないところで病院を支える

施設課は、「設備が壊れたら修理する
部署」というイメージを持たれる方が多
いかもしれませんが、私はそれ以上に大切
なのは設備を止めないことだと思ってい
ます。患者さんや職員のみなさんが安心して
病院で過ごせるように、病院を支えるさま
ざまな設備を点検し、病院が24時間365日
変わらず機能し続けるためには欠かすこと
のできない部署だと思っています。私は前
職、ヘリコプターの整備に携わっていました。
航空機の整備では、「壊れたら直す」ではな
く、「壊れる前に異常を見つける」という予
防整

備が基本です。当然コストはかかりますが、
この考え方は現在の施設課にも通じていま
す。設備も突然故障するように見えて、実
際には小さな異常が積み重なって不具合に
つながることが少なくありません。そのため、
日頃の点検では設備の音や振動、温度、臭
いなどの変化にも気を配り、「いつもと違
う」という小さなサインを見逃さないよう心
掛けています。施設課の仕事は、診療や看護
を支える「土台」として重要な役割を担って
います。だからこそ、現場スタッフの声に耳
を傾け、より安全な環境づくりを意識して
仕事に取り組んでいます。これからも知識
や技術を磨き、一つひとつの仕事を丁寧
に積み重ねながら、患者さんや職員のみ
なさんが安心して過ごせる白十字病院で
あり続けられるよう、病院を支える存在
でありたいです。

最後に、『施設課って最近いるっけ？』
と言われるくらい、何事もない毎日を支
えていけたらと思います。



川本 誠
MAKOTO KAWAMOTO
施設課主任
■出身地：長崎県
■趣味：DIY

施設課



いいね！

- # 施設課の仕事とは
- # 設備を止めないように日々点検
- # 大きなトラブルを未然に防ぐ
- # エネルギーマネージメントにも注力

外来担当医表

2026年10月1日時点

■受診受付時間/8:45～11:30(月～金曜日)

予約 / 予約の変更 / 予約の確認 (月曜～金曜/8:30～17:00)

※時間帯予約制となっております。

事前に**予約受付コールセンター**で予約をお願いします。

0120-19-8912 (フリーダイヤル)

診療科		診療時間	月	火	水	木	金
内科	総合診療科・内科	午前・午後		武岡 宏明(福大)			牛島 正人(福大) (第1・3・5週) 吉田 美奈(福大) (第2・4週)
	内 科	午前初診	大崎 優亮 (呼吸器内科)	安心院 勇佑 (心臓血管内科)	矢次 博 (呼吸器内科)	林 佐保 (腎臓内科)	工藤 優宇輔 (心臓血管内科)
	糖尿病内科	午前初診	岩瀬 正典	北村 環	二宮 和輝	西崎 愛佳	井手 均
		午前再診	岩瀬 正典/ 井手 均/ 北村 環	岩瀬 正典/ 北村 環/ 高木 可南子	二宮 和輝/ 西崎 愛佳/ 北村 環	井手 均/ 西崎 愛佳/ 高木 可南子	岩瀬 正典/ 井手 均/ 北村 環
	脳・血管内科	午 前	徳永 敬介	熊井 康敬	東 英司	中西 泰之	高木 勇人
		午 後		清原 卓也(九大)	熊井 康敬※再診のみ	由比 智弘(第2・4週)	
	心臓血管内科	午 前	藤沼 絵里奈	安心院 勇佑	永井 海渡	三戸 隆裕	工藤 優宇輔
		午後再診	ペースメーカー外来				
	消化管内科	午 前	岡村 活揮/ 三浦 玲	工藤 哲司/ 三浦 玲	井浦 登志実/ 岡村 活揮	井浦 登志実/ 北村 滉基	工藤 哲司/ 北村 滉基
	肝臓・胆のう・膵臓 内科	午 前	高田 和英	福永 篤志	高田 和英	福永 篤志※再診のみ	
		午 後	松元 慶彦(胆・膵外来)		向坂 彰太郎※再診のみ		
	腎臓内科	午 前	酒匂 哲平	木村 廣志	酒匂 哲平	林 佐保	東 和樹
		午 後		腹膜透析(PD)外来 腎療法選択外来 腎検診専門外来		平野 直史※再診のみ 腹膜透析(PD)外来 腎療法選択外来	
	呼吸器内科	午 前	大崎 優亮		矢次 博		松本 武格
		午 後					
	内分泌内科	午 前	高江洲 理人(福大)				
		午 後					萬代 幸子(九大)
	脳神経内科	午 後	川添 美紀(福大) (馬場医師不在週)			馬場 康彦(福大) (第1・3・5週)	
	血液内科	午前・午後再診		河津 大地(福大)			中島 勇太(福大)
	もの忘れ外来	午 後				入江 克実 (13:00～15:00)	
外科	精神科 ※入院患者	午 前	平河 則明(九大)(第1・2・3・5週) 平野 羊嗣(宮崎大)(第4週)		平河 則明(九大)		比嘉 逸人(九大)
		午 後	平野 羊嗣(宮崎大)(第4週)				
	外 科	午 前	谷 博樹/ 星野 滉大	浅生 義人/ 中村 勇太郎	浅生 義人/ 増原 紗希	谷 博樹/ 中村 勇太郎	籠田 進之介/ 増原 紗希
			※浏野:第1・3木曜日午後(13:00～15:00)再診のみ				
	脳神経外科	午 前	林 修司/ 柴山 理菜	井上 亨	天本 宇昭/ 田尻 崇人 (脊椎末梢神経外来)	平尾 宜子	田尻 崇人 (脊椎末梢神経外来)
		午 後	入江 由希乃/ 森口 真哉				田尻 崇人 (脊椎末梢神経外来)
	脳血管内治療外科	午後初診					福田 健治(琉球大) (第2・4週)
	心臓血管外科	午 前		住 瑞木/ 寺谷 裕充		住 瑞木/ 山崎 翔太郎	助弘 雄太(福大) ※再診のみ
		午 後		江石 清行/ 尼子 真生		江石 清行/ 尼子 真生	助弘 雄太(福大) ※再診のみ
	乳腺外科	午 前	松尾 文恵	松尾 文恵	田中 益美(福大)	松尾 文恵	松尾 文恵
		午 後					
	整形外科	午 前	立花 悠/ 古賀 裕知	矢野 竜大/ 伊崎 輝昌 (福大建築・肩関節外来)	立花 悠/ 馬渡 侑希(福大)	古賀 裕知/ 沖本 勝信	矢野 竜大/ 大井 美怜
		午 前	眞鍋 剛	大塚 駿太	眞鍋 剛	大塚 駿太	大塚 駿太
	泌尿器科	午 前	阿部 裕典/ 篠原 知樹	中谷 和貴/ 宮原 拓也	阿部 裕典/ 横山 理子	篠原 知樹/ 宮原 拓也	阿部 裕典/ 中谷 和貴
		午後再診	久志本 俊郎	羽賀 宣博(福大)	久志本 俊郎	久志本 俊郎	
	眼 科	午 前	伊崎 亮介 ※再診のみ:10時まで/ 藤原 恵理子	伊崎 亮介	伊崎 亮介/ 藤原 恵理子	伊崎 亮介	平山 雅敏(福大)/ 伊崎 亮介
	歯科口腔外科	午前・午後	嶋村 知記/ 青柳 直子	嶋村 知記/ 青柳 直子/ 近藤 誠二(福大)	嶋村 知記/ 青柳 直子	嶋村 知記/ 青柳 直子/ 一木 志保(福大)	嶋村 知記/青柳 直子/ 眞野 亮介(福大)/ 豊福 明(東京科学大学) (第2週のみ)
	皮膚科 ※入院患者	午 後					清水 裕毅(福大)
	肺がん外来	午 後		中島 裕康(福大) (第2・4週のみ)			



社会医療法人財団 白十字会

白十字病院



Facebook



Instagram



〒819-8511 福岡市西区石丸4丁目3-1
TEL:092-891-2511 / FAX:092-881-4491
<https://www.fukuoka.hakujyujikai.or.jp/>